

脱炭素化・中小企業支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合

ESG年次報告書（2025年版）

野村アセットマネジメント

（本組合のアセット・マネジャー）

2026年4月

当「ESG年次報告書」は、「脱炭素化・中小企業支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合」の契約に基づき、当ホームページで公開しているものです。

当報告書の内容は、2026年4月時点の情報に基づきます。

本組合の概要

本組合のご紹介

■ 設立の経緯

- 2024年2月に、東京都の支援の下で、「脱炭素化・中小企業支援ファンド・オブ・ファンズ 投資事業有限責任組合」（以下、「本組合」）が設立されました。
- 東京都は、脱炭素化社会の実現に向け、企業のサプライチェーン全体でスコープ3への対応に取り組む中小企業を後押しするため、公募によりファンド・オブ・ファンズの運営事業者を選定し、野村アセットマネジメント株式会社（以下、「野村アセット」）を採用しました。
- 野村アセットは、本組合の無限責任組合員である合同会社N P E 2 0 2 3 Tから運営委託を受け、本組合のアセット・マネジメントを行っております。

本組合の狙い

- 野村アセットは、プライベートエクイティ（以下、「PE」）市場の発展に貢献するとともに、幅広い投資家に国内PE投資の機会をご提供すべく、国内PEファンドを複数組み入れる「日本PE FoFs」戦略を運用しております。東京都の公募に応じて、既存のFoFs*と並行運用するファンドとして、本組合の運用、管理に当たっております。
- 本組合は国内PEファンドに投資することを通じて、以下の実現を目指します。
 - 都内中小企業をはじめとする日本の中小企業振興、事業承継、新産業育成等への貢献
 - PE市場の発展や新興ファンドの育成に貢献
 - 投資家、投資先ファンド・最終投資先企業がともに満足し、リターンを共有出来る投資を実現
 - 投資先ファンドへの働きかけを通じて、最終投資先企業におけるESG取り組みを加速させ、長期的に都内中小企業の温室効果ガス排出量の削減、そして脱炭素化への取り組みを加速

*野村プライベートエクイティ投資事業有限責任組合

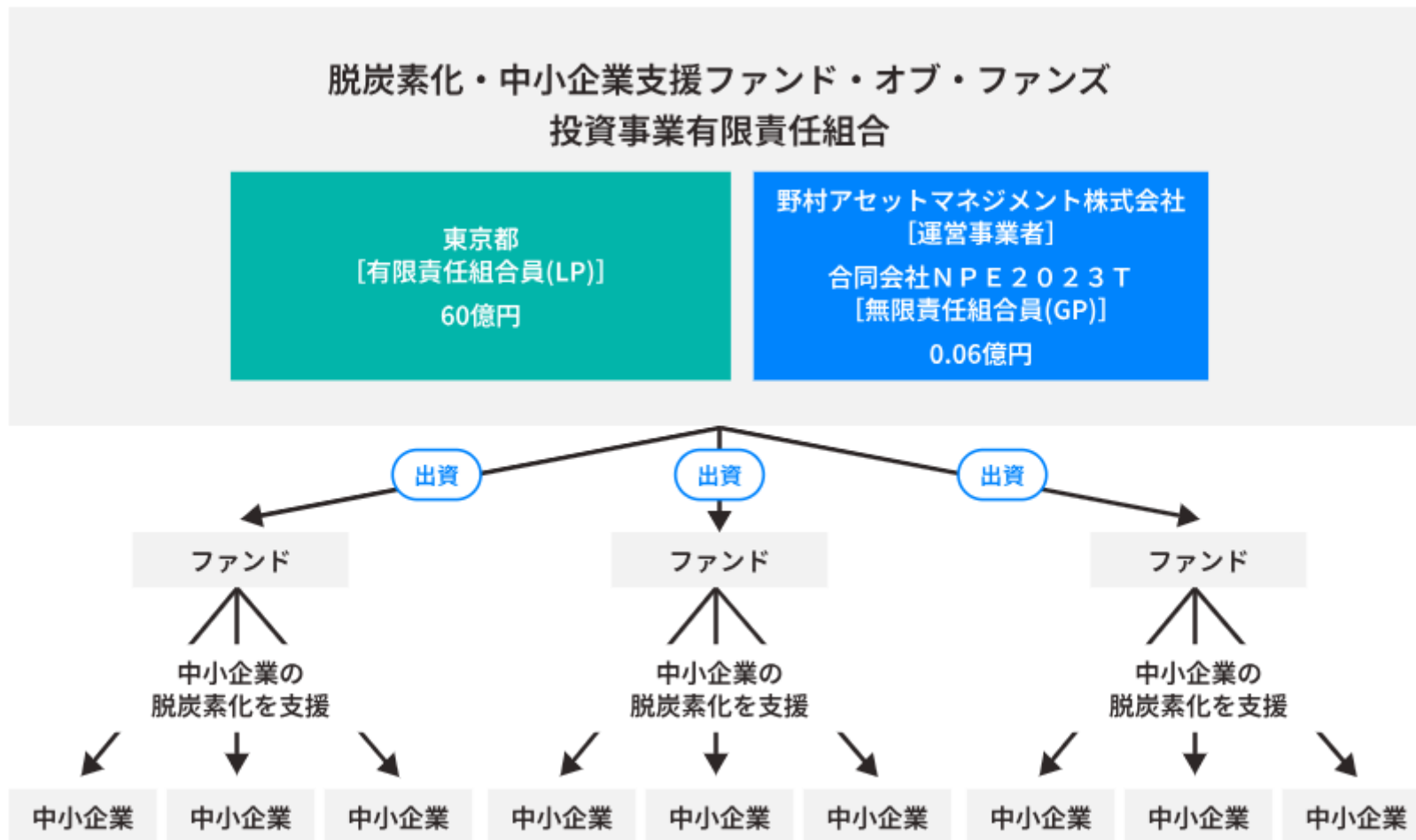
上記は脱炭素化・中小企業支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合の説明の一部であり、すべてを網羅するものではありません。
資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

本組合の概要

本組合の名称	脱炭素化・中小企業支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合
設立日	2024年2月16日
ファンド総額	60.06億円
無限責任組合員	合同会社NPE2023T
実質的な運用会社	野村アセットマネジメント株式会社
主な有限責任組合員	東京都
ウェブサイト	https://tokyo-dss-fof.jp/

本組合のスキーム

- 東京都を中核の出資者として、2024年2月に設立されたFoFsです。



上記のプロセスは、今後変更となる場合があります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

本組合の投資対象、ポートフォリオ

- 本組合は、国内PEの投資ユニバース内で投資可能なファンドを厳選します。
- トップダウンアプローチとボトムアップアプローチを組み合わせ、またリターン・リスク・ESG等の要素を加味して、ポートフォリオを構築します。



➤ 以下項目を考慮して投資配分を検討

戦略

ビンテージ（投資年）

国内地域分散

業種

ステージ

規模

日本比率

- 投資先ファンドは、FoFsのリターンの源泉
- 各GP・ファンドを評価し、優良ファンドを厳選
- 当社、野村グループのネットワークによるソーシング

➤ 最適ポートフォリオの組合せを追求

安定したリターン

リスク分散

キャッシュフロー改善
Jカーブ抑制

ESG

本組合要件

脱炭素化対応、年次報告書対応

上記のプロセスは、今後変更となる場合があります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

本組合の投資状況

■ 投資実績

- これまで2ファンドに10億円ずつ、計20億円の投資コミットを実行しました。
- 投資先ファンドの調達総額は合計約700億円、最終投資先企業は25社以上となっています。*
- 現在も、投資先ファンドの選定、組み入れ検討を進めております。

投資実行済みファンド・概要

運用会社名	バイアウト運用会社 A	VC運用会社 B
運用戦略	国内バイアウト（中型）	ベンチャーキャピタル
投資時期	2024年8月	2024年9月
設立	2000年代前半	1990年代後半
投資実績**	30件以上	1,200件以上

* 2025年12月末時点の本組合決算に準拠した数字、金額はコミットメントベース。投資先ファンドの規模は、並行ファンド分を含む。

** 各運用会社が運用・管理するファンド等から投資した投資件数

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

本組合におけるESG取り組み（投資前、投資時）

- 当社は投資前から随時、各社のESG対応状況について情報収集、ヒアリングします。
- 投資検討時には、ESG質問状を送付し、GHG排出測定や資源エネルギー使用量削減等、各項目の詳細をヒアリングします。ESGも総合評価の1要素としております。

投資検討時のESGにかかる確認事項

1. ESGの体制が整っているか
2. ESGが実運用において反映されているか
3. ESG取り組みを改善する意思があるか



以下の場合、投資しない方針

- ✓ ESGの取り組みが低水準で、且つ改善の意思が確認できない場合
- ✓ 年次報告書や年次アンケート等への協力を得られない場合

上記のプロセスは、今後変更となる場合があります。

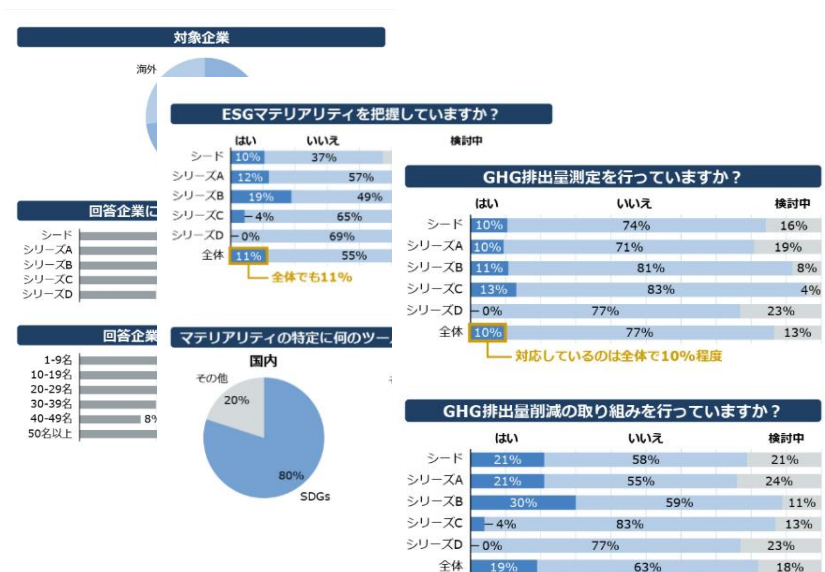
ESG質問状のサンプル

項目	質問内容	回答	評価	評価項目
ESG関連質問票（野村アセットマネジメント）				
環境	1. 貴社が、投資先企業からの温室効果ガス排出を把握していますか？ （温室効果ガス排出量の算定、削減に向けた取り組みに関する情報）	はい	高	環境負荷低減の取り組み、ESG評価
社会	2. 貴社が、投資先企業の人権侵害（児童労働、強制労働、人身売買、労働時間超過、労働安全衛生、差別）に関する情報を知っていますか？	はい	高	労働環境の改善、ESG評価
ガバナンス	3. 貴社が、投資先企業の取締役会や監査委員会にESGに関する情報を知っていますか？	はい	高	ESGの経営戦略への反映、ESG評価
環境	4. 貴社が、投資先企業の環境負荷（CO2排出量、エネルギー消費量、廃棄物処理量）に関する情報を知っていますか？	はい	高	環境負荷低減の取り組み、ESG評価
社会	5. 貴社が、投資先企業の労働環境（労働時間、労働安全衛生、労働賃金）に関する情報を知っていますか？	はい	高	労働環境の改善、ESG評価
ガバナンス	6. 貴社が、投資先企業の取締役会や監査委員会にESGに関する情報を知っていますか？	はい	高	ESGの経営戦略への反映、ESG評価
環境	7. 貴社が、投資先企業の環境負荷（CO2排出量、エネルギー消費量、廃棄物処理量）に関する情報を知っていますか？	はい	高	環境負荷低減の取り組み、ESG評価
社会	8. 貴社が、投資先企業の労働環境（労働時間、労働安全衛生、労働賃金）に関する情報を知っていますか？	はい	高	労働環境の改善、ESG評価
ガバナンス	9. 貴社が、投資先企業の取締役会や監査委員会にESGに関する情報を知っていますか？	はい	高	ESGの経営戦略への反映、ESG評価
環境	10. 貴社が、投資先企業の環境負荷（CO2排出量、エネルギー消費量、廃棄物処理量）に関する情報を知っていますか？	はい	高	環境負荷低減の取り組み、ESG評価
社会	11. 貴社が、投資先企業の労働環境（労働時間、労働安全衛生、労働賃金）に関する情報を知っていますか？	はい	高	労働環境の改善、ESG評価
ガバナンス	12. 貴社が、投資先企業の取締役会や監査委員会にESGに関する情報を知っていますか？	はい	高	ESGの経営戦略への反映、ESG評価

本組合におけるESG取り組み（投資後）

- 投資後は、投資先ファンドのESGレポート、サーベイ等（発行している場合）の確認、また当社独自の年次アンケートで、ESG全般や脱炭素化への取り組み状況を確認します。
- 投資先ファンドとのコミュニケーションを通じて、脱炭素化への対応を促していきます。
- 投資先ファンドのESGレポート、サーベイ等や年次アンケートの内容をまとめて、FoFsとしてのレポートを作成します（本報告書）。本組合のHP上で、一般公開します。

ファンド作成のESGレポート、サーベイの例



本報告書

1. 投資先ファンドが脱炭素インパクトを算出している場合、その実績を記載
2. 投資先ファンドの脱炭素やその他ESGに対する個別の取り組みを記載
3. 一般公開に際し、投資先ファンドが匿名での公開を望む場合には、投資先ファンド等が特定されない形に加工した上で、公開
4. 当社のHPのニュースにて、本組合のHPへのリンクを掲載

(出所) 投資先ファンドの情報をもとに、野村アセットマネジメント作成

本組合投資先ファンドにおける取組状況

投資先における脱炭素化に向けた取り組み

- 野村アセットは各投資先ファンドに対し、以下いずれかの対応を求めておりますが、各ファンドはこれに従って開示、説明等を行っております。
 - ESGレポート、サーベイ等を作成・発行している場合はこれらを野村アセットに提出する
 - 作成していない場合は野村アセット作成の年次アンケート等に対して適時、適切に回答する
- 各投資先ファンドは、未上場企業の投資組み入れを始めたばかりの段階であり、現時点では、未上場企業の脱炭素化に向けた取り組みについて、ご報告できる内容はありません。
- 投資先ファンドから状況報告を受けて、継続的に本報告書にて開示してまいります。

投資先における期待される貢献・実績

- 各投資先ファンドは、未上場企業の投資組み入れを始めたばかりの段階です。
- したがって、現時点では、未上場企業における脱炭素化として期待される貢献・実績について、ご報告できる内容はありません。
- 投資先ファンドから継続的に状況報告を受けて、今後継続的に当報告書にて開示してまいります。
- 野村アセットとしても投資先ファンドと対話を進めてまいる考えです。

ご参考情報

－各投資先ファンドのESG関連取り組み

注：以下で取り上げる企業は、必ずしも本組合の投資先ファンドの投資対象ではありません

バイアウト運用会社 AのESG取組状況・体制

- 同社は、ESG投資方針を策定し、投資検討・実行時に順守状況を確認しています。
- 投資先の温室効果ガス排出量の測定・開示は現在行っておりません。

ESG取組状況

- 2018年にESG投資方針を策定、ESGポリシーをHPにて公開しています
- 投資検討・実行時に投資委員会においてESG投資方針の遵守状況を確認しています
- ESGにかかる投資家報告は、懸念事項やインシデントが発生した場合に限定しています
- 投資先の温室効果ガス排出量の測定・開示については、費用対効果の観点から現在見送っています

ESG取り組み体制

項目	状況
ESGポリシー	制定済み（2018年）
ESG委員会	なし
ESG担当者	なし
ESGの実行責任者	案件担当者
国連責任投資原則	署名未済

バイアウト運用会社 Aの取り組み

- 同社は、前号ファンドの投資に際し、サステナビリティ・リンク・ローンを活用
 - サステナビリティ・リンク・ローンとは、社会課題に対してターゲット指標を設定し、その課題を解決すると金利が下がる仕組みを導入したローン

投資先概要：食品会社A

- 食料品の製造・販売会社
- フェアトレード食品の取り扱いをはじめ、その翌年には原料のすべてをフェアトレード食品としている
- 投資に際しては、地域銀行と連携して、サステナビリティ・リンク・ローンを設計。フェアトレード食品の市場浸透をターゲットに設定し、フェアトレードの推進がローン金利引き下げにつながる仕組みを策定

フェアトレード食品とは

- 公正な貿易の理念に基づき、食品の原材料等を生産者から適正な価格で買い取り、生産者の生活向上や環境保護に貢献する食品のこと
- 開発途上国で生産される食品原材料の多くは、貧困や児童労働、環境問題といった課題を抱えている。フェアトレードは、これらの問題を解決し、生産者の生活改善と持続可能な開発に貢献する取り組み

当戦略の投資先企業の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

VC運用会社 BのESG取組状況・体制

- 同社は、ESG投資方針を策定し、投資検討・実行時及び投資後、定期的にESG状況を確認しています。
- 投資先の温室効果ガス排出量の測定・開示は現在行っておりません。

ESG取組状況

- 2021年にESGポリシーを策定、HPにて公開しています
- ESGに関するDDを実施しており、投資委員会における判断における一要素となっています
- 年次でESGアンケート（次頁参照）を実施し、HPにて公開しています
- 投資先の温室効果ガス排出量の測定・開示は、投資先のリソース等を鑑みて行っていませんが、測定有無と環境取組みについてヒアリングを行っています

ESG取り組み体制

項目	状況
ESGポリシー	制定済み（2021年）
ESG委員会	なし
ESG担当者	ESGポリシー・マネージャー 設置
ESGの実行責任者	ESG担当者・投資担当者
国連責任投資原則	署名済み（2024年）

VC運用会社 Bの取り組み

■ 国連責任投資原則（UN PRI）に2024年署名

- 2025年よりレポート対応を開始
- グローバルスタンダードに準拠したESG活動が期待される

■ 国内外の投資先すべてを対象としたESGアンケートを実施

- 株式上場を目指す企業としてのESGの意識醸成、ESGの実態調査を目的に、年次でアンケート調査を実施
- 自社ウェブサイトでも、調査結果と解説を公開
- 環境配慮の取組を行っていると回答した企業は過半を占めているが、GHG排出量削減に取り組んでいる企業や削減量測定を実施している企業は依然少数派である
- 今後B社はナレッジシェア・支援等有益な情報発信を実施することを検討しており、改善に期待

ご留意事項

- 当資料は、当社運用の報告を唯一の目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は、特定の商品の売り付けの申し込みまたは買い付けの申し込みの勧誘を一切構成するものではなく、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料中の記載内容は、全て当資料作成時以前のものであり、将来にわたって当資料の記載内容に依拠することができるわけではありません。また事前の連絡なしに変更される事があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆ないし保証するものではありません。
- 市況動向、資金動向等によっては、当資料で提示した方針にしたがった運用が出来ない場合があります。
- 当資料に記載している運用については、値動きのある証券への投資や外国為替予約取引等を行ないますので運用資産の価値は変動します。従って、元金が保証されているものではありません。
- 当資料のいかなる部分も一切の権利は野村アセットマネジメントに属しておりますので、無断で複製等を行わないようお願い致します。

投資顧問サービスに係るリスクについて

- お客様のために行なう金融商品取引行為については、株式、新株予約権付社債、公社債等に投資します（投資信託・リミテッドパートナーシップ等を通じて投資する場合を含みます）ので、国内外の経済・政治情勢、金利変動、発行体の業績や財務状況の変化等の影響により、投資する株式、通貨等の価格が下落し、損失が生ずるおそれがあります。
- また、当商品ではデリバティブ取引を使用することがあります。同取引は証拠金の金額以上のレバレッジを活用して行なうことから、原資産となる有価証券や指数等の変動によって価格も変動し、差し入れた証拠金を上回る損失が生じる可能性があります。またこのレバレッジの比率は投資方針や国内外の市場環境の変化等により、随時変えていきますので事前に表示することができません。証拠金はデリバティブ取引を行なう期間、発注先証券会社の計算に基づき当社が妥当であると判断した金額を契約資産から預託いたします。

2026年4月現在

投資顧問サービスに係る費用について

- 当資料は、直接的な勧誘を目的としたものではありません。将来的に運用商品を提供した場合、以下の諸費用が発生します。一般的な計算方法の概要は以下のとおりになりますが、お客様との契約内容によって料率は異なり、具体的な提示をすることはできません。
- 投資顧問サービスの対価として、一般に、契約資産額に対して予め定めた料率（a%）の投資顧問報酬が契約期間に応じてかかります。
計算方法：契約資産額×（a%）×契約期間日数/365＝該当期間の投資顧問報酬
- 投資一任契約内で、弊社の投資判断として投資信託を購入する場合があります。この場合は当該投資信託の購入にかかる費用（投資信託の運用報酬、及び販売会社・管理会社の費用の他、投資信託の換金に際し、信託財産留保額がかかる場合があります）が発生いたします。ただし、投資信託を購入する場合のうち、当該投資信託が当社並びに当社グループが設定するものである場合、運用報酬の重複を防ぐために上記の投資顧問報酬の調整を行います。調整の計算方法は個別の契約で別途定めますが、投資顧問報酬金額から当該投資信託に係る運用報酬金額を控除することにより調整をいたします。
- お客様との取り決めにより投資顧問報酬を成功報酬とする場合があります（また、上記との組み合わせとする場合もあります）。なお、成功報酬については、予め定めた基準等にもとづき実際の運用実績等に応じて投資顧問報酬が変動するほか、お客様と別途協議により取り決めさせていただくことから、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。
- 投資顧問報酬とは別に、有価証券売買委託手数料や、有価証券の保管等に係る諸費用が費用として発生し、契約資産から控除されます。またこれらの費用は運用状況により変動するため事前に具体的な料率・上限額等を表示することができません。

2026年4月現在

お問い合わせ先

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

TEL (03)6387-5000 (大代表)

商号：野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号

加入協会： 一般社団法人資産運用業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会